

東っ子の力（学力と学習）

令和6年度全国学力・学習状況調査結果より

国語

【良好な点】

- 目的や意図に応じて、集めた情報を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力がついています。
- 文の中における主語と述語の関係を捉えることができています。
- 物語文を読み、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして、心に残ったことをまとめ、書く力がついています。

【課題として】

- ▲文の中で、正しく漢字を書くことに課題があります。

全国学力調査の問題では、日常生活でよく使う漢字を書く力が身に付いているかを問う問題が出題されました。朝学習や宿題等で、着実に漢字の学習に取り組むことが大切です。また、日頃より習った漢字を使って文を書くよう、学習を進めます。

算数

【良好な点】

- 立体図形について、図形の構成について理解し、見取り図をかくことができています。
- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができています。
- 速さが一定であることをもとに、道のりと時間の関係について考える力がついています。

【課題として】

- ▲道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断し、理由を言葉や数を用いて書くことにつまずきが見られます。
- ▲身の回りの事象を目的に応じて表やグラフなどのデータを用いて考察することに課題があります。

速さなど単位量当たりの大きさの意味や表し方について理解を深められるよう、図や数式を用いて、課題の解決に取り組む機会を設けます。また、日常生活を絡めながら、データを言葉と数を使って表現する力を身に付け、活用する能力を育てていきます。

学習・生活の様子

【良好な点】

- ほとんどの児童が、普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがあると答えています。
- 授業で、PCやタブレット機器などのICT機器を、毎日使って学習に取り組んでいます。

【課題として】

- ▲1日当たりのテレビゲームや動画の視聴時間が多い傾向にあります。

学校では、デジタルシティズンシップの視点で、デジタル機器の使用ができるよう支援していきます。ご家庭でも、時間を決め、ルールを守って、よりよい活用ができるよう、親子で話し合ってください。ICT機器活用の効力感が高い児童ほど挑戦力・自己有用感・幸福感が高い傾向にあるという結果が出ています。課題の解決に取り組む学習で、ICT機器を活用しながら、「わかる授業」の実践に努め、子どもたちの自己肯定感を高めていきます。